

市民ワークショップについて

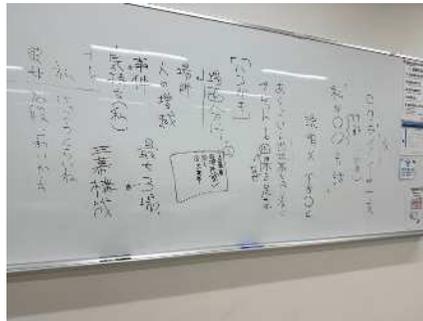
1 目的

市民にとって身近な場所であるコミュニティセンターで、芸術文化体験の機会を提供し、芸術文化を通して地域や市民の交流を創出することを目的とする。

2 内容

日程	令和6年12月15日、21日、22日
参加人数	5名
講師	古賀 今日子氏 田坂 哲郎氏
内容	第1回 オリエンテーション 第2回 ラジオドラマ作成 第3回 ラジオドラマ作成、収録 ※第3回目の収録については、観覧可能。3名参加。 ※レポーター講座受講生の見学あり。

3 ワークショップの様子



4 結果

- ・参加者は少なかったが、個々に寄り添える内容となり、じっくりとお互いの話を聞く時間をすることができた。
- ・人数が少ないからか、ワーク以外の時間についても、参加者同士の会話が長く、交流が生まれた。ワークショップがきっかけで、表現活動に興味を持ち、芸術文化の場に参加しているとの声をいただき、芸術文化を知ってもらおう機会となっていると感じた。

5 課題

- ・昨年度の南地区での実施（14名）と比較して、参加者が少なかった。日程や時間の設定、周知方法などアプローチ方法を見直す必要がある。
- ・ワークショップで生み出される「世代を超えた交流」「まちを振り返り残す作業」など、本プログラム特有の効果や価値を周知する必要がある。なお、周知に際しては、参加の促しだけでなく、市の取組を知ってもらうこと、地域や各活動の場で、このような表現活動の場を取り入れてもらうことを念頭に、発信する場所や機会を検討する。

6 今後の取組

- ・ふるさと館やコミュニティセンター等を活用したラジオドラマの放映や事業の周知。
- ・事業の様子や、参加者の感想やラジオドラマ作成後の参加者の後日談など、このワークショップで起こっていること（成果や過程）の継続的な周知や活動のきっかけづくり。（ツナグトへの掲載等）